

## 2021年度 通常総会議事録

表記の総会が、新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年5月15日(土)17時40分よりオンライン(Zoom)にて、富澤会長を議長として開催された。出席者46名に委任状により表決権を委任した者45名(議長委任45名)を加え出席者は91名であることから、出席者が3月31日の正会員数437名の10分の1以上となり、会則第15条により総会は成立した。以下の事項が報告・承認された。

### I. 応用統計学会 2020年度 事業報告(2020.04.01~2021.03.31)

#### 1. 概況

2020年度は、富澤貞男 会長・松浦正明 副会長と13名の理事、および中西寛子、永田靖の両監事の体制で活動した。

財務状況は黒字であった。

2020年度中の会員の入会、退会状況は、入会者数10名(内訳:正会員10名)、退会者数5名(内訳:正会員5(物故者3名含))であった。

この結果、会員数は2020年度末現在で437名である。内訳は正会員422名、学生会員8名、名誉会員7名である。また、賛助会員6社、機関・団体購読は30件である。

正会員、学生会員と名誉会員を足した会員数の推移は次のとおりであり、会員増への方策の検討が必要である。

	2014年度末	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末	2020年度末
会員数	501名	521名	499名	451名	426名	432名	437名

#### 2. 総会の開催

2020年5月14日に対面による通常総会を東京理科大学葛飾キャンパスで開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止しメールによる総会として開催した。岩崎会長がメール総会議長として5月14日に開催宣言を行ない、庶務(文書)理事が総会資料の配信と会員からの審議結果の受信を担当した。18日(月)17時に岩崎会長からメール総会終了宣言のメール配信がなされた。会員からの総返信数は81件であり、3月31日の正会員数414名の10分の1以上となり、会則第15条により総会は成立した。

#### 3. 評議員会

2020年5月8日から11日に定例評議員会をメールによって開催した。メールの配信と集計は庶務(文書)理事が担当し、定足数に達していたため、総会に付議する事項を審議した。

#### 4. 理事会

新型コロナウイルス感染症の影響によりzoomによる理事会を8回(2020年6月,7月,8月,9月,11月,12月,2月,3月)、メール審議による理事会を1回、計9回理事会を開催し、学会の運営に関する事項、会員の入退会に関する事項、学会などの後援や協賛に関する事項や、(学会運営をスムーズにするため)新規に企画委員会、会計委員会、情報・広報委員会

の設置について審議した。

## 5. 機関誌編集

「応用統計学」Vol.49のNo.1, No.2, No.3の3冊を発行した。掲載原稿は11編（研究論文3, 研究ノート2, フォーラム5, エッセイ1）である。総ページ数の推移は次のとおりである。

巻	42	43	44	45	46	47	48	49	平均
総ページ数	195	57	187	122	176	128	104	162	141.4
論文数*	7	10	3	11	8	5	5	11	7.5

\*掲載された記事の数（総合報告, 研究論文, 覚え書き, 統計計算, フォーラム, 研究ノート, エッセイ）

## 6. 応用統計学会論文賞の選考

「応用統計学」に掲載された論文から選考し、以下のように学会論文賞を授与した。表彰式および受賞記念講演を9月の連合大会で開催された企画セッション内で実施した。

優秀論文賞：川野 秀一, 村田 右富実

スパース正準判別分析に基づく万葉短歌の作者の分類とその特徴付け, 48(3), 45--57.

奨励論文賞：奥井 佑

アウトカム情報を利用した細菌データに対するノンパラメトリックベイズトピックモデル, 48(1&2), 1--16.

## 7. 年会

2020年度年会を2020年5月14日に東京理科大学葛飾キャンパス（葛飾区）で開催予定であったが、会員の皆様の新型コロナウイルス感染回避および開催校への配慮から、やむなく「中止」した。

参加者数の推移は次のとおりである。

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年	2020年
参加者数	105名	106名	64名	71名	55名	43名	66名	中止

## 8. フロンティアセミナーの開催

応用統計学フロンティアセミナーの年度内開催について検討を続けたが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み年度内での実施を見送ることとした。講演予定者は以下の通りである。

樋口知之（中央大学）、永田靖（早稲田大学）、岩崎学（横浜市立大学）。

## 9. 統計関連学会連合大会

統計関連学会連合大会を2020年9月8日～12日にオンライン開催した（主催：応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会・日本分類学会）。

参加者数は延べ1,448名（チュートリアル参加者数335名, 市民講演会参加者数178名, 本大会参加者数935名）であった。本学会の企画セッションとして、応用統計学会学会賞授賞式・受賞者講演（オーガナイザー：姫野哲人（滋賀大学）、青木敏（神戸大））と、応用統計学

会企画セッション「Information Criteria in Data Science」（オーガナイザー：松田安昌（東北大））を JSPS KAKENHI for JJSD との共催で行った。

大会参加者総数とチュートリアルセミナー参加者の推移は次のとおりである。

年 度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
大 会	776名	835名	836名	1,275名	1,114名	1,448名
チュートリアルセミナー	232名	252名	170名	143名	143名	335名

※ 2020年の数字は統計関連学会連合のウェブページでの報告

## 10. 関連学会等との後援・協賛事業

合計6件（後援4件，協賛1件，共催1件）

今年度に後援・協賛した行事は次のとおり。

- ・ 慶應義塾大学 SFC 研究所 第11回データビジネス創造コンテスト（後援）
- ・ 一般社団法人日本数学会，一般社団法人日本応用数理学会 異分野異業種研究交流会（共催）
- ・ 統計数理研究所 産学連携シンポジウム（後援）
- ・ 電子情報通信学会 第23回情報論的学習理論ワークショップ（IBIS2020）（協賛）
- ・ 慶應義塾大学 SFC 研究所 第12回データビジネス創造コンテスト（後援）
- ・ 横浜市立大学 第3回 WiDS Tokyo@Yokohama City University（後援）

## 11. 関連学会等への協力と協調

以下の各連合組織に当学会より担当する理事又は特別任務を担当する学会員を指名し，各委員会に出席するなど協調を行った。

### (1) 統計関連学会連合

理事会（理事長：岩崎学 理事，理事：富澤貞男 会長，松浦正明 副会長），  
事業委員会（中西寛子 監事，青木敏 会員，生亀清貴 理事，岩崎学 理事，藤井良宣 会員）

### (2) 統計関連学会連合大会

2020年度大会

組織委員会（岩崎学 理事，中西寛子 監事）

プログラム委員会（二宮嘉行 会員，元山齊 会員），運営委員会（山口誠一 会員）

### (3) 横断型基幹科学技術研究団体連合

2020年度 代議員（松浦正明 副会長）

### (4) 統計教育連携ネットワーク

連携学会として参加

### (5) リスク研究ネットワーク

機関メンバーとして参加

### (6) 統計検定（一般財団法人 統計質保証推進協会）

協賛学会として協力

## 12. ホームページおよびメーリングリストの充実

ホームページを逐次更新し，学会員への情報公開を円滑にした。また，メーリングリストによる情報公開を行った。

## 13. 情報誌

学会員の情報交換や意見交換になる情報誌「応用統計学会 information」を創刊し，学会ホ

ホームページ上に No. 1 を掲載した。

#### 14. 名誉会員

2020 年度の名誉会員については、公募の結果、小西貞則氏、三輪哲久氏が名誉会員となった。2021 年度の名誉会員についても、2020 年度中に公募を行った。

#### 15. 会費滞納者への対応

今後も連絡を試みる事とし、除籍処分については行わなかった。

その他の事業については応用統計学会のホームページをご覧ください。

## Ⅱ. 2020年度会計報告

## 1. 収入の部

勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 会費収入	<b>2,162,500</b>	<b>2,087,500</b>	75,000
(1) 正会員	2,020,000	1,925,000	95,000
(2) 名誉会員	5,000	17,500	▲ 12,500
(3) 学生会員	17,500	25,000	▲ 7,500
(4) 賛助会員	120,000	120,000	0
2. 雑誌売上収入	<b>224,000</b>	<b>204,000</b>	20,000
(1) 購読料収入	216,000	204,000	12,000
(2) バックナンバー売上	8,000	0	8,000
3. 広告料	<b>90,000</b>	<b>90,000</b>	0
4. 掲載料・別刷り・カラー印刷収入	<b>230,000</b>	<b>170,000</b>	60,000
5. 年会等関係収入	<b>6,500</b>	<b>0</b>	6,500
(1) 年会収入	4,000	0	4,000
(2) チュートリアル収入	2,500	0	2,500
(3) ワークショップ収入	0	0	0
6. 雑収入(著作権料・利息等)	<b>95,651</b>	<b>78,000</b>	17,651
当期収入合計	2,808,651	2,629,500	179,151
前期繰越金	6,957,626	6,957,626	0
収入合計	9,766,277	9,587,126	179,151

## 2. 支出の部

勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 機関誌関係費	<b>1,481,748</b>	<b>1,390,000</b>	91,748
(1)印刷費	1,196,800	1,070,000	126,800
(2)校正費	50,000	50,000	0
(3)通信・発送費	234,948	270,000	△ 35,052
2. 年会等関係費	<b>20,000</b>	<b>150,000</b>	△ 130,000
(1)年会支出	10,000	0	10,000
(2)チュートリアル支出	10,000	0	10,000
(3)ワークショップ支出	0	50,000	△ 50,000
(4)共催国際会議支出	0	0	0
(5)広報費	0	100,000	△ 100,000
3. 管理費	<b>960,151</b>	<b>1,050,000</b>	△ 89,849
(1)事務委託費	750,000	750,000	0
(2)消耗品費	133,177	100,000	33,177
(3)会議費	0	80,000	△ 80,000
(4)雑費	60,760	90,000	△ 29,240
(5)事務合理化費	7,700	10,000	△ 2,300
(6)選挙費	8,514	20,000	△ 11,486
4. 役員旅費補助	<b>0</b>	<b>100,000</b>	△ 100,000
5. 関連学会協調事業費	<b>70,000</b>	<b>120,000</b>	△ 50,000
(1)関連学会年会費	20,000	20,000	0
(2)横幹連合年会費	50,000	50,000	0
(3)連合大会企画セッション支出	0	50,000	△ 50,000
6. 学会賞	<b>70,595</b>	<b>50,000</b>	20,595
7. 謝金	<b>0</b>	<b>150,000</b>	△ 150,000
当期支出合計	2,602,494	3,010,000	△ 407,506
収支差額(次年度繰越金)	7,163,783	6,577,126	586,657
支出合計	9,766,277	9,587,126	179,151

## 2021年度への繰越金の内訳

項目	2020年3月31日現在	2021年3月31日現在
銀行預金	382,620	752,623
郵便貯金	1,344,386	1,344,396
郵便振替	5,220,514	5,066,764
現金	10,106	0
合計	6,957,626	7,163,783

## 会計監査報告書

## 応用統計学会殿

応用統計学会会則に基づき、2020年4月1日より2021年3月31日までの会計経理を監査した結果、会計報告のとおり相違ないことを認めます。

2021年4月12日

監事

水田 靖



中西 寛子



### Ⅲ. 応用統計学会 2021 年度 事業計画(2021.04.01～2022.03.31)

#### 1. 機関紙の発行

「応用統計学」Vol. 50 を発行する。

#### 2. 応用統計学会論文賞等の授与

「応用統計学」に掲載された論文の中から優秀な論文に学会賞（優秀論文，奨励論文）を授与する。また年会の一般講演（口頭発表）の中から最優秀発表賞と優秀発表賞，ポスターセッションの中から優秀ポスター発表賞を授与する。優秀論文賞と奨励論文賞の各受賞者は統計関連学会連合大会における企画セッションで講演を行う。

#### 3. 年会の開催

2021 年の 5 月 15 日にオンライン開催の予定である。また，14 日にはオンラインにてチュートリアルを開催予定である。なお，2022 年の開催場所は応用統計学会が担当する予定である。

#### 4. 応用統計学フロンティアセミナーの開催

2021 年度もフロンティアセミナーは 2020 年度に企画した「応用統計学の過去，現在そして未来へ」のテーマで開催の予定である。セミナーの時期および開催場所については今後検討する。

#### 5. 統計関連学会連合大会での企画セッション

2021 年度統計関連学会連合大会（応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会・日本分類学会が主催）が 2021 年 9 月 5 日～9 日に長崎大学文教キャンパスで開催される予定であったが，オンライン開催に決定した。企画セッションとして当学会は，

- 「統計的因果効果推定の近年の進展：異質性を中心に」（オーガナイザー：星野崇宏（慶應義塾大学／理化学研究所）
- 応用統計学会学会賞受賞者講演（オーガナイザー：姫野哲人（滋賀大学データサイエンス研究科），南美穂子（慶應義塾大学理工学部）

を企画運営する。

#### 6. 研究集会

必要に応じてその他の研究集会を開催・支援する。

#### 7. 学会員への情報公開

ウェブページやメーリングリストを活用して，学会員への情報公開を有効かつ円滑に行う。賛助会員の一覧をウェブページに作成する。昨年度新規に発行した情報誌「応用統計学会 information」を今後もホームページに掲載する予定である。

#### 8. 広報活動

会員の募集のための広報活動を，連合大会（ブースの設置）や適切な媒体を使って行う。

## 9. 学会ホームページ

学会のホームページをリニューアルする.

## 10. 関係学会等との協調

以下の団体への加盟を継続し協力すると共に, その他関係学会との協調を促進する.

- (1) 統計関連学会連合
- (2) 日本計量生物学会
- (3) 横断型基幹科学技術研究団体連合 (横幹連合)
- (4) 統計教育連携ネットワーク
- (5) リスク研究ネットワーク
- (6) 統計検定 (一般財団法人 統計質保証推進協会)
- (7) データサイエンティスト協会

## 11. 名誉会員

名誉会員の公募と選考を行う.

## 12. 選挙

2022年度の会長, 副会長, 評議員の選挙を実施する.

## 13. 理事会, 評議員会, 総会の開催

今年度は新型コロナウイルスにより年会をオンライン開催するため, 評議員会および総会はオンライン (zoom) での開催とする.

また対面, オンライン (zoom), メール等による理事会は必要に応じて開催する.

以上

## IV. 2021年度予算案

### 1. 収入の部

勘定科目	2020年度予算	2020年度実績	2021年度予算
1. 会費収入	2,087,500	2,162,500	2,102,500
(1) 正会員	1,925,000	2,020,000	1,960,000
(2) 名誉会員	17,500	5,000	5,000
(3) 学生会員	25,000	17,500	17,500
(4) 賛助会員	120,000	120,000	120,000
2. 雑誌売上収入	204,000	224,000	180,000
3. 広告料	90,000	90,000	90,000
4. 掲載料	170,000	230,000	227,000
5. 年会等関係収入	0	6,500	670,000
(1) 年会収入	0	4,000	270,000
(2) チュートリアル収入	0	2,500	100,000
(3) フロントアセミナー収入	0	0	300,000
6. 雑収入(著作権料・利息等)	78,000	95,651	72,000
当期収入合計	2,629,500	2,808,651	3,341,500
前期繰越金	6,957,626	6,957,626	7,163,783
収入合計	9,587,126	9,766,277	10,505,283

・1. 会費収入 …… 個人会員の会費納入率を過去3年間の実績に基づき93%として以下のように算出

正会員 …… 392名(422名×0.93)×5,000円=1,960,000円

名誉会員 …… 2名(原則会費無料。発送希望者2名分)×2,500円=5,000円

学生会員 …… 7名(8名×0.93)×2,500円=17,500円

賛助会員 …… 6件×20,000円=120,000円

・2. 雑誌売上収入 …… Vol.50の30部×6,000円=180,000円

・3. 広告料 …… 3号分(Vol.50, No.1, No.2, No.3)を発行予定として90,000円で算出

・4. 掲載料 …… 過去3年間の平均(230,000+60,000+390,000)/3=226,666円で算出

・5. 年会等関係収入

年会収入 …… 企画理事の見積りに基づき算出

チュートリアル収入 …… 企画理事の見積りに基づき算出

フロントアセミナー収入 …… 年会収入を参考に算出

・6. 雑収入 …… 過去3年間の平均に基づき(95,651+62,289+58,228)/3=72,056円で算出

## 2. 支出の部

勘定科目	2020年度予算	2020年度実績	2021年度予算
1. 機関誌関係費	1,390,000	1,481,748	1,607,000
(1)印刷費	1,070,000	1,196,800	1,200,000
(2)校正費	50,000	50,000	180,000
(3)通信・発送費	270,000	234,948	227,000
2. 年会等関係費	150,000	20,000	530,000
(1)年会支出	0	10,000	280,000
(2)チュートリアル支出	0	10,000	0
(3)フロンティアセミナー支出	50,000	0	250,000
(4)共催国際会議支出	0	0	0
(5)広報費	100,000	0	0
3. 管理費	1,050,000	960,151	1,140,000
(1)事務委託費	750,000	750,000	750,000
(2)消耗品費	100,000	133,177	110,000
(3)会議費	80,000	0	40,000
(4)雑費	90,000	60,760	80,000
(5)事務合理化費	10,000	7,700	10,000
(6)選挙費	20,000	8,514	150,000
4. 役員旅費補助	100,000	0	50,000
5. 関連学会協調事業費	120,000	70,000	120,000
(1)統計関連学会連合年会費	20,000	20,000	20,000
(2)横幹連合年会費	50,000	50,000	50,000
(3)連合大会企画セッション支出	50,000	0	50,000
6. 学会賞	50,000	70,595	50,000
7. 謝金	150,000	0	0
8. 「学会ホームページ」改修費	0	0	1,000,000
小計	3,010,000	2,602,494	4,497,000
9. 予備費	6,577,126	7,163,783	6,008,283
当期支出合計	9,587,126	9,766,277	10,505,283

- ・1. 機関誌関係費 …… 3号分(Vol.50, No.1, No.2, No.3)として以下のように算出
  - (1)印刷費 …… 過去3号分の実績に基づき、印刷費1,100,000円と  
電子ジャーナル作成料100,000円で見積もり
  - (2)校正費 …… 3号分(Vol.50, No.1, No.2, No.3)で180,000円
  - (3)通信・発送費 …… 過去3年間の平均(23,4948+174,223+270,160)/3=226,443円で算出
- ・2. 年会等関係費 …… ワークショップ1回、および広報費として
  - 年会支出 …… 企画理事の見積りに基づき算出
  - チュートリアル支出 …… 企画理事の見積りに基づき算出
  - フロンティアセミナー支出 …… 過去の年会支出などを参考に250,000円で算出
  - 広報費 …… 過去2年間(広報費の項目は3年前から)の実績に基づき0円で算出
- ・3. 管理費 …… 過去3年間の平均に基づき算出
  - 選挙費は前回選挙があった2019年度実績に基づき算出
- ・4. 役員旅費補助 …… コロナ過の状況を踏まえ昨年度予算100,000円の半額で算出
- ・5. 関連学会協調事業費 …… 統計関連学会連合年会費20,000円,  
横断型基幹科学技術研究団体連合年会費50,000円と,  
連合大会の企画セッションの予算50,000円で算出
- ・6. 学会賞 …… 優秀論文賞(30,000円), 奨励論文賞(10,000円), 名誉会員証, 賞状, 証書フォルダ等
- ・7. 謝金 …… 校正者への謝金は「1. 機関誌関係費(2)校正費」に含めることに変更
- ・8. 「学会ホームページ」改修費 …… 業者の見積りに基づき算出

## V. 学会賞の選考

第1次選考, 第2次選考の結果, 以下の論文が選出された.

優秀論文賞:

Vol. 49, No. 1, 1-11. (2020)

「競技かるたの決まり字に関する統計的解析」

松田孟留

奨励論文賞:

Vol. 49, No. 3, 109-125. (2020)

「単一強スパイク固有値モデルにおける高次元平均ベクトルの2標本検定」

石井 晶 (共著者: 矢田和善, 青嶋 誠)

## VI. 名誉会員の推挙

清水 邦夫 氏

推薦理由：

清水邦夫氏は、応用統計学会役職として、1990-1993 年度に庶務理事、2000-2003 年度に編集理事、2004-2005 年度に会長、2006-2009 年度に無任所理事、2010-2011 年度に企画理事、2012-2013 年度に監事を務められ、本学会の発展に尽力された。清水氏は、長年、東京理科大学および慶應義塾大学に勤務され、優れた研究を積み上げられるとともに、多くの研究者を育成してこられた。清水氏は、対数正規分布および関連した確率分布に関する研究や方向データのための確率分布に関する研究を中心に、理論面と応用面の両面にわたり様々な統計学の研究に従事してこられ、数多くの論文を発表された。国際活動にも積極的に取り組み、国際学術賞の受賞や国際学術誌の編集委員も務められた。さらに、「Lognormal Distributions: Theory and Applications」(Marcel Dekker)、「地球環境データ」(共立出版)、「損保数理・リスク数理の基礎と発展」(共立出版)、「角度データのモデリング」(近代科学社)、「相関係数」(近代科学社)など、多くの書籍も出版され、応用統計の啓蒙にも尽くしてこられた。

これらの業績は特筆すべきものであり、応用統計学会名誉会員に就任いただく十分な理由があると判断できるため、ここに推薦する次第である。